

ごあいさつ

岡山小学校創立百周年記念事業委員会

委員長 末 広 栄

ごあいさつ

校長 末 崎 実

昭和五十年二月十一日この日は五十年代の最初の建国記念日であり、この佳き日に岡山小学校の創立百周年祝賀式典を挙行し、その責を果たす事は私の最も喜びとするところであります。

かえりみすれば私がこの小学校を卒業して約六十五年遠い昔の事ながら小学校時代の思い出はつきないであります。この百周年の祝賀行事にあたりましては区域内の方々はもちろん区域外の篤志の方および学校当局PTAの方々特に記念事業には大変御世話をかけまして誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。竜頭山の麓、山の井川のほとりに建立されたこの小学校は昔、振徳校と言いつつその後岡山小学校と改名現在の地に新築その後増築または一部改築されておりましたが、八女市制施行によって今回全面新築し現在の見事な校舎が完備され市当局および市教委の苦勞も一かたならぬものがあつた事と存じます。厚く御礼申し上げます。人生必ず欠くべからざるものは教育と存じております。入学までの家庭における教育そして学校教育また卒業後といえども人と人によって教育の連続でもあり努力の連続でもありこれが人生であると思ひます。この岡山小学校が輩出した政治家稲富代議士を始め教育家・実業家数多くの知名の方々が他郷において活躍されておられます。学校教育の大切さありがたさ、小学校時代諸先生方のなつかしさ、ありがたさ、この百周年の記念式典に思い出は多く限りありません。

今後は岡山小学校が人間の基礎造りの場として先生方に御努力をいただく事を切望し、今後といえども学校教育の大切さと百周年記念祝賀を機会に皆様と共に再認識して小学校のため御尽力いただくよう、そして竜頭山のある限り山の井川の流れる限り岡山小学校の発展をこい願ひまして私の挨拶にかえさせていただきます。

岡山小学校が明治五年振徳校として鶴池の地に開校されて以来百年の歳月を経過しました。

この間、幾多の変遷をみましたが、多数の卒業生を世に送り、これら先輩が国家のため、地域社会のため輝かしい活躍をされておりますことは、真にご同慶の至りに存じます。

この記念すべき年に当り、校区内有志の方々発起により創立百周年記念事業委員会が設立されて、記念式典と共に、学校が更に発展することを願つて、よりよい教育環境の整備充実を企画され実現されました。

これ全く校区に流れている醇風であり、あたたかい母校愛の現われであります。奇しくもこの時この学校に巡りあつた私共二十名の職員と四〇二名の児童一同この幸せをかみしめ、この光栄に感激しております。

昭和四十五・四十七年度と二期にわたる校舎改築で、昔の面影、見るかげもないこと、思いますが、二月十一日、建国の記念日に相集い往時を偲び、少年時代の思い出にひたつていただきたいと存じます。

最後に皆様のご厚情に感謝し、次の岡山小百年の歴史を築くため、職員一同更に努力することを決意して挨拶いたします。



百周年記念事業

- 一、百周年記念式典
 - 昭和五十年二月十一日(建国記念日)
- 二、校門(兼記念碑)建立
- 三、理科教材園施設
- 四、交通コーナー施設
- 五、記念植樹
- 六、記念資料蒐集及び展示
- 七、タイムカプセル埋蔵
- 八、記念の葉及び記念品配布

記念式典

- 一、門柱除幕式(九、〇〇〜九、三〇)
 - 1 開式のことば
 - 2 除幕 会長(末広 栄)
 - 3 会長式辞 児童代表
 - 4 閉式のことば
- 二、記念式典
 - 児童の部(一〇、〇〇〜一一、〇〇)
 - 1 開式のことば
 - 2 国歌斉唱
 - 3 学校長式辞
 - 4 記念品授与
 - 5 来賓祝辞(会長)
 - 6 学校百年の歩み
 - 7 校歌斉唱
 - 8 閉式のことば
 - 一般の部(一二、〇〇〜一六、四〇)
 - 1 開式のことば
 - 2 国歌斉唱
 - 3 会長式辞
 - 4 経過報告
 - 5 記念品目録贈呈
 - 6 感謝状贈呈
 - 7 来賓祝辞
 - 8 祝電披露
 - 9 旧職員代表挨拶
 - 10 卒業生代表挨拶
 - 11 学校長謝辞
 - 12 児童代表のことば
 - 13 万才三唱
 - 14 閉式のことば
- 四、祝賀会
 - 1 開会のことば
 - 2 お謡・吟詠
 - 3 祝宴 乾杯
 - 4 万才三唱

